

求める児童像

よく考える子ども  
仲間を大切にする子ども  
ねばり強い子ども

# 船っ子 FUNAKKO



平成 28 年 12 月 22 日  
枚方市立船橋小学校  
校長通信 第 1 2 号

## 二学期が終わり、今年も残り数日となりました。

79 日間の二学期が終わりました。1 年で最も長い学期ですから、それだけ行事がたくさんあり、忙しくも充実した学期でした。夏休み作品展に始まり、運動会、芸術鑑賞会、防災訓練（風水害と火災）、各学年の郊外学習、オープンスクールと参観懇談、個別懇談会、5 年生 AED 講習、6 年生は修学旅行や中学校登校、市の行事として小学生陸上に駅伝大会、PTA と地域行事としては船小祭り、区民体育祭、校区レクリエーション等々、思い出しますね。本当に盛りだくさんでした。子どもたちは行事のたびに新たな体験をし、多くを学び、成長してきました。一人ひとり学びの内容も度合いも異なりますが、それぞれが一生懸命に取り組みました。

いよいよ明日からは冬休みです。土日の関係で今年度は 18 日間のお休みとなります。

**三学期始業式は平成 29 年 1 月 10 日（火）**です。平常通り登校班で登校してください。給食開始は 1 月 12 日（木）からとなります。（1/10、1/11 の給食はありません。）

病気、怪我、事故を防止するため、特に以下のことを注意し、楽しい冬休みにしてください。

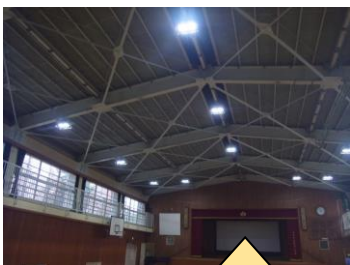
- 外から帰ったら、うがい・手洗いをしましょう。
- 寒さに負けず、安全な場所で元気に遊びましょう。
- 自転車に乗る時はルールとマナーを守りましょう。
- 歩行者の右側通行、横断歩道の活用など、交通ルールを守りましょう。
- 火遊び等、危険な遊びはやめましょう。
- 出かけるときは必ず防犯ブザーとホイッスルを身につけましょう。
- ゲームやスマホ等携帯型端末の使用の仕方について、家庭でルールをしっかりと決めましょう。

## 今学期、学校施設も変わりました！

留守家庭児童会室が建てかわりました。



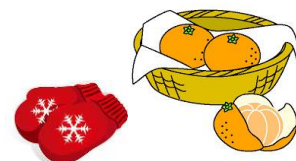
南門にスロープができました。



体育館の照明が LED になり、スイッチが入り口の近くになりました。



花だんの柵がきれいになりました。



※ 学校職員は、年末の 12 月 28 日（水）まで、また新年は 1 月 4 日（水）より出勤しています。何かありましたら、お電話等でお問い合わせください。  
電話番号 050-7102-9140



# ゲーム機が子どもに与える影響



私が大学生だった1983年（昭和58年）に発売された家庭用ゲーム機の“ファミリーコンピュータ”、略称ファミコンは瞬く間に子どもの心を捉え、爆発的ヒットとなりました。あれから33年、次から次へと新しいタイプのゲーム機が発売され、子ども達の生活と遊びは一変しました。

昭和40年代、私が小学生の頃は学校から帰ると男の子は河川敷や空き地に集まり、暗くなるまで野球やサッカーをして遊びました。中学生の頃はギターが流行り、お小遣いやお年玉でフォークギターを買って、阪神高速の下や児童公園に集合し、グループを組んで大声で歌いながら練習しました。

今の子ども達は、スケジュール的にも場所的にも、また治安面からも、「学校から帰るとランドセルを放り投げ、夕暮れまで外で遊ぶ」とはなかなかいきません。でもゲームならば屋内で手軽に安全にできますし、何よりも子ども達自身が大喜びです。放っておけば、何時間でもゲームに没頭する子も多いでしょう。スクリーンや携帯型端末に向かう子ども達の意欲といい表情といい、本当に楽しそうです。でも、自制心のまだまだ乏しい小・中学生にとって、時間や方法などの取り決め（約束）のないゲーム使用は、やがて“依存”へと繋がり、子どもの心と生活、そしてその家族に多大なる悪影響を及ぼす可能性があります。このことは、ゲーム世代である保護者の皆さんも聞いたことがあると思いますが、ここで改めて、ゲーム依存が子ども達にどのような悪影響があるのか知って頂きたいと思います。

## 長時間のゲームでじっくりと取り組む集中力が落ちる

何かに集中し、じっくりと取り組む力が低下すると示す研究があります。ゲームに費やす時間が多いほど、学校の授業で、あるいは家庭学習で、集中しづらくなるという事が指摘されるのも、このためではないかとされています。また、このことは学習面だけでなく生活面においても注意力が散漫となり、そわそわと落ち着きがなくなるとも言われています。



## 学力低下、ゲームに費やす時間と学力は反比例

デニソン大学のロバート・ワイズ博士とブリタニー・セラノスキー博士の研究では、6歳から9歳までの男子を、テレビゲームを「購入した/しなかった」グループに分け比較したところ、購入した児童の成績が下がったそうです。また、全員の毎晩の時間配分を調査すると、ゲームを購入した子どもの方が、宿題や読書など他の活動にかかる時間が大きく減っていた、とのこと。このことは、全国学力・学習状況調査における結果にも現れています。つまり学業不振は、テレビゲーム自体の問題というよりは、限られた時間の中でゲーム以外のことにかかる時間が減るためと結論づけられています。

## 暴力的なゲームが引き起こす問題行動

ゲーム内での暴力的なシーンが、子どもの行動に悪影響を与えるとする研究は多くあります。また、より暴力的な内容のゲームを長時間プレイしている子どもは学力が低下し、生活においてもより攻撃的であったり暴力的であったりと、問題行動が増えるとも報告されています。

二学期に行ったオープンスクールに、鳥取大学の今度 珠美 先生をお呼びし、各学年に情報モラルの授業を行って頂きました。保護者で参観された方も多いと思います。事前に児童には無記名のアンケートを行っていたのですが、その結果について今度先生は次のようなことを言われました。

私は年間100以上の学校で授業を行っていますが、船橋小の子ども達のゲームに費やす時間の長さは、全国でもかなり多い方です。休日10時間以上ゲームをしている子が各学年に数名おり、ネットを利用した対戦ゲームやSNS等で知り合った相手と会ったことがある、と答えた子もいます。子どもの心身や生活に与える影響を危惧します。ゲームや情報端末の使用について、家庭や学校で十分に注意して下さい。



先日、家庭学習の充実に向け「家庭への7つのお願い」として枚方市教育委員会からのプリントをお配りしました。その中にも『テレビの視聴、ゲーム・インターネットの時間や携帯電話・スマートフォンの利用はルールをきめる。』とありました。明日から冬休みです。子ども達は家庭で過ごす時間が長くなります。今一度、ゲームやスマホ等携帯型端末の使用の仕方について、各家庭でルールをしっかりと決め、**家族が集まって会話しふれ合う時間**をできるだけ多く取って頂くようお願いいたします。

## RENNON のひとり言・・・

ゲームが好きな人は多いよね。でも、校長先生は昔から“テレビゲーム”が大嫌いなんだ。「日本中のテレビゲームを叩き壊してやりたい！」っていつも言ってるよ。だから校長先生の娘と息子は、ゲームボーイすら買ってもらうことがないんだ。ところで、最近のオンラインゲームは、飽きないような工夫がしてあるんだってね。新しい事を次々と追加していけたり、上級者しか入れない世界を用意したりして、やめられないようになってるんだ。昔のゲームはクリアしたら終わり、しばらく遊べばそのうち飽きてしまったけど、最近のゲームには終わりがなくって。そしてやめられなくなって、「ゲーム依存症」という怖い病気になって、学校や会社に行けなくなってしまっている人もいます。楽しい冬休みの前に怖い話をしちゃったけど、依存症なんかにならないよう、お家の人とルールを決めて、楽しく健康的に遊んでね。どうかよいお年を・・・ ワンワン

